

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「そのまま来いよ」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じます。

昨年に続いて今年の夏も、たいへんな猛暑でした。私（若院）も、あせもや虫刺されの痒みと戦いながら、なんとかこの夏を乗り越えました。門信徒の皆様はどんな夏を過ごされましたか？三国では「暑い暑い」と言っていたればよかったです。この夏の台風12号と15号は日本列島に甚大な被害をもたらしました。100人以上の方が亡くなったり行方不明になっておられます。暑いとか野菜が高いとか文句ばかり言っている私ですが、み仏に手を合わせて被災された方のことを考えると、申し訳ないことであつたと気づかれます。

さて、つい先日のことです。あるご門徒さんのお宅に月命日のお参りに行かせていただいた時に、そのお家の3歳と7歳の子供さん2人がきちんとおちよきん（福井弁で正座

報恩講にお参りください。

16日（日） 昼2時・夜7時 17日（月） 朝10時

のこと）して合掌礼拝されていきました。その純粹無垢な姿があまりにも尊かつたので心を打たれました。家族全員がお仏壇にお参りする背中をしつかりと目にして育つ子供さんは、きつと大きくなつても、そのお姿を忘れないことでしょう。本当に有り難い『ほとけの子』であるなあと思いました。阿弥陀さまのみ教えを『そのまま』信じて受け取ることがとても難しい（難中之難無過斯……難の中の難、これに過ぎたるはなし）のは、私たち大人が如来様の救いを疑い、いろいろな計らいや考えを合掌に込めてしまうからなのでしょう。子供たちが一心に礼拝している姿には、何の計らいもなくただひとすじに念仏するという浄土真宗そのものがまさに息づいていました。

一休宗純禅師にこのようなエピソードがあります。一休さんが弟子を連れて鰻屋の前を通つた時、いい匂いがしたので「旨そうだな」とひとこと。カチンと来たお弟子さんは寺に帰ってから、「仏に仕える身で鰻が旨そうとは不謹慎じゃないんですか？」と質問されたそうです。そうしたら一休さんは、

「なんじゃ。お前はまだ鰻のことを考えていたのか。わしは鰻屋の前に捨ててきたわい。」とおっしゃったというのです。いつまでもよくよと過ぎたことにこだわっていたのは、実は私だったのですね。

煩惱を捨て離れることなどできようもない私たちですが、その私たち凡夫をこそ救いの目当てに立ち上がってくださった阿弥陀さまにすべてをおまかせして、「そのまま来いよ、まかせておけよ」というお言葉に身を委ねましょう。私たちだつていつまでも『ほとけの子』です。いつだって『育ち盛り』なのですから。



「報恩講が厳修されます」

日	10時〜	14時〜	19時〜
16日(日)		大速夜 報恩講作法 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拝読 法話一席
17日(月)	ご満座 阿弥陀経作法 法話一席		

福井市教應寺住職

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

今年もまた報恩講がめぐってきました。何度も書きますが、報恩講は、宗祖親鸞聖人のご命日をご縁として勤められる、浄土真宗で一番大切な法要です。特に本年は750回の大遠忌となり、ご本山でも大法要がお勤まりになつてゐるのはご存知のことと思ひます。本山にはいろいろなご事情でお参りできなかつた門信徒の皆様もあることだと思いますが、我が寺の報恩講に、お体の都合で来られない方をのぞいて、ご家族のどなたも、ただの一度も参ることができないはずはないと思ひます(できればすべてのお座にお参りいただきたい)。浄土真宗は『阿弥陀さまの願いを聞かせていただく』宗教です。阿弥陀如来のお救いを、なかなか受け入れるこ

とができなくても、聴聞を重ねること、これでもよし!とはなりません、少しずつ少しずつ身に染みてくることです。皆様お誘い合わせのうえお参りください。お電話下さればお迎えに行くこともできます。

「僕の東京日記」放送!

さる6月にハートピア春江で上演された、福井青年劇場の『僕の東京日記』がいよいよ福井ケーブルテレビで放送されます。学生運動が盛んだった昭和40年代の東京のパートが舞台です。私(若院)は、猫嫌いで公認会計士を目指す変な男の役で出ています。16日〜29日まで5チャンネルで放送されますので、ぜひお見逃しなく。詳しくは今月号の『けーぶるちゃん』の72ページをご覧ください。感想も聞かせてくださいね。

「メロディ・フェア」放送!

毎週土曜日の夜10時から50分間、ラジオのNHK-FMでラジオドラマが放送されています。今回、福井を舞台にしたドラマが作られました。詳しくは9月18日の福井新聞に記事が出ています。福井在住の宮下奈都さんの同名の小説をドラマ化したものです。私(若院)は出ていませんが、制作にちよつとだけ関わりました。また福井青年劇場の女優さん方も出演されています。福井弁のアクセントなどいろいろ苦労しましたので、

ぜひお聴きください。「口紅一本がその人の人生を変えることもある」……特に女性にオススメです!最近のテレビのくだらないドラマより、よっぽどいいですよ!

「西別院の大遠忌法要懇志」

前々号にて、本願寺福井別院より、平成25年春に厳修予定の親鸞聖人750回大遠忌法要並びに本堂・門徒会館の改修工事の懇志依頼が来ておりますとお伝えしましたが、次の皆様よりご懇志を頂戴いたしました。たいへん有り難うございます。お名前のみご紹介させていただきます。

では、報恩講でお会いしましょう!

住職 内嶋洪淳(うちじま こうじゅん)

090-8261-3090

若院 内嶋淳浩(うちじま あつひろ)

090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com

※携帯電話に登録しましょう!